

地球温暖化対策実施状況報告書

2021年 7月 29日

（提出先）
横浜市長

住所 横浜市鶴見区末広町1-1

氏名 AGC株式会社
AGC横浜テクニカルセンター
センター長 井上 滋邦

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり提出します。

1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の名称 及び代表者の氏名	AGC株式会社 代表取締役 平井 良典					
主たる事業所の所在地	東京都千代田区丸の内1丁目5番1号					
主たる事業の業種	大分類	E 製造業				
	中分類	21 窯業・土石製品製造業				
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者					
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第2号該当事業者					
	<input type="checkbox"/> 規則第89条第1項第3号該当事業者					
	<input type="checkbox"/> 地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）					
	原油換算エネルギー使用量	38,828	k l	市内全事業所数	2	事業所
			原油換算エネルギー使用量が500kl以上の事業所数	2	事業所	
自動車の台数		台				

2 計画期間及び実施年度

計画期間	2019 年度 ～ 2021 年度	実施年度	2020 年度
------	-------------------	------	---------

3 公表の方法

<input type="checkbox"/> ホームページ	アドレス	
<input checked="" type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所	AGC横浜テクニカルセンターの保安室
	所在地	横浜市 鶴見区末広町1-1
	閲覧可能時間	9:00-17:15(土日祝除く)
<input type="checkbox"/> その他		

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

4の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量		削減率		原単位	
	基準年度 (2018年度)	基礎 ※1	82,975 t-CO ₂	/		t-CO ₂ /
	調整後 ※2	81,909 t-CO ₂	t-CO ₂ /			
目標年度 (2021年度)	基礎	80,486 t-CO ₂	3.0	%	t-CO ₂ /	
	調整後	79,452 t-CO ₂	3.0	%	削減率	3.1 %
第一年度 (2019年度)	基礎 ※1	88,356 t-CO ₂	▲ 6.5	%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※2	86,530 t-CO ₂	▲ 5.7	%	削減率	9.3 %
第二年度 (2020年度)	基礎 ※1	85,313 t-CO ₂	▲ 2.8	%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※2	82,442 t-CO ₂	▲ 0.7	%	削減率	13.9 %
第三年度 (2021年度)	基礎 ※1	t-CO ₂		%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※2	t-CO ₂		%	削減率	%
目標の進捗及び 達成状況の説明 (2020年度)	省エネ活動要因		効率改善	LED化の促進、ボイラーの並列運転と配管保温対策など		
	事業活動量要因		活動量増加	コロナ禍の煽りで車載事業生産の落ち込みはあったものの、既存ガラス事業の安定な推移に加え、羽沢移転で開発人員が増え、全体としては換算投入量である原単位の分母が増加した。		
	排出係数要因		影響なし	特になし		
	外部要因		好影響	コロナ禍により、在宅勤務が増加し事務所の稼働も下がり電力消費が低下した。		

※1 基準年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数（電気事業者から供給された電気の排出係数は基礎排出係数）を継続して使用すること。

※2 当該年度におけるエネルギーの種類ごとの二酸化炭素排出係数（電気事業者から供給された電気の排出係数は調整後排出係数）を使用し、「5 クレジットに関する取組状況」における特定温室効果ガス削減相当量の合計値を差し引くこと。

4の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

	特定温室効果ガス排出量		削減率		原単位	
	基準年度 (2018年度)	基礎	t-CO ₂	/		t-CO ₂ /
	調整後 ※3	t-CO ₂	t-CO ₂ /			
目標年度 (2021年度)	基礎	t-CO ₂		%	t-CO ₂ /	
	調整後	t-CO ₂		%	削減率	%
第一年度 (2019年度)	基礎	t-CO ₂		%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※3	t-CO ₂		%	削減率	%
第二年度 (2020年度)	基礎	t-CO ₂		%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※3	t-CO ₂		%	削減率	%
第三年度 (2021年度)	基礎	t-CO ₂		%	t-CO ₂ /	
	調整後 ※3	t-CO ₂		%	削減率	%
目標の進捗及び 達成状況の説明 (2020年度)	省エネ活動要因		(選択)			
	事業活動量要因		(選択)			
	排出係数要因		(選択)			
	外部要因		(選択)			

※3 基礎排出量から「5 クレジットに関する取組状況」における特定温室効果ガス削減相当量の合計値を差し引くこと。

5 クレジットに関する取組状況

番号	クレジットの名称	特定温室効果ガス削減相当量 [t-CO ₂]	備考
1			
2			
3			
4			
5			
合計			

6 再生可能エネルギー利用設備の稼働状況

番号	設備機器の種類	導入年度	設備機器の性能	発電等の実績	単位
1		年度			
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

7 次世代自動車の導入状況

次世代自動車の種別	電気自動車	プラグイン ハイブリッド車	燃料電池自動車	合計
導入台数[台]				
保有台数[台]	0	0	0	0

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の設定状況	②実施状況	
1 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。		<input checked="" type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
2 エネルギー使用量の把握	① エネルギー種類別（電力、ガス、蒸気、圧縮空気等）の使用量の記録、保管等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を元に、現状把握、過去との比較検証を実施している。		<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
3 事務用機器の管理	① 事務用機器（パーソナルコンピュータ、プリンタ、コピー機、ファクシミリ等）の待機電力削減の取組、省エネモード設定等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	事務用機器	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
4 受変電設備の力率の管理	① 受電端における力率は、95パーセント以上とすることを基準として進相コンデンサ等を制御するように管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	受変電設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
5 照明設備の管理	① 事業活動に適した点灯時間、点灯エリア、照度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	年間2,000時間以上点灯する照明設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
6 空調設備の管理	① 空調を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた設備の運転時間、室温、湿度等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
7 空調用冷凍機の管理	① 外気条件変動等に応じた冷却水温度や圧力等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調用冷凍機	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
8 換気設備の管理	① 換気を施す区画を限定し、外気条件変動等に応じた換気量、運転時間等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	換気設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
9 フィルターの清掃	① 空調設備、換気設備のフィルターの点検、清掃についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	空調設備 換気設備	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
10 ボイラーの管理	① 過剰な蒸気の供給及び燃料の供給をなくし適正に運転するため、蒸気の圧力、温度及び運転時間についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

細則第38号様式（第2条第49号）
（総括票）

8の1 重点対策の実施状況及び計画（第1号及び第2号該当事業者）（その2）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の設定状況	②実施状況	
11 蒸気配管等の管理	① ボイラー設備の配管、バルブ等の保温及び断熱の維持、蒸気の漏えい、詰まりの防止等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
12 燃焼設備の空気比管理	① 燃焼設備及び使用する燃料の種類に応じて、排出ガスにおける空気比の値が基準空気比※以下になるような、空気比についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ボイラー 工業炉	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
13 ポンプ、ファン、ブロワー及びコンプレッサの負荷に応じた運転管理	① 使用端圧力及び吐出量を把握し、負荷に応じた運転台数制御、回転数制御等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	ポンプ ファン ブロワー コンプレッサ	<input checked="" type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

※ 基準空気比とは、工場等におけるエネルギーの使用の合理化に関する事業者の判断の基準（平成21年経済産業省告示第66号）の別表第1（A）に規定するものをいう。

8の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	対策の内容	対象設備	対策状況		備考
			①管理基準等の設定状況	②実施状況	
14 推進体制の整備	① 本社等が中心となり、支店等と連携して、地球温暖化対策を推進する管理体制を整備している。 ② ①の体制に基づき、定期的に地球温暖化対策に関する計画立案、進捗確認等の会議等を実施している。	/	<input type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
15 自動車の適正な使用管理	① 目的地までの燃料消費量、所要時間等を考慮した効率的な走行ルート等の情報を運転者に伝える仕組みを整備している。 ② ①の仕組みを活用した運用を実施している。	/	<input type="radio"/> 整備済 <input type="radio"/> 一部整備済 <input type="radio"/> 未整備 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
16 エネルギー使用量等に関するデータの管理	① 自動車ごとの走行距離、エネルギー消費量等のデータの定期的な記録等についての管理基準を設定している。 ② ①の情報を活用した運用を実施している。	/	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
17 エコドライブ推進体制の整備	① エコドライブ推進に関する責任者を設置し、エコドライブの実施及びエコドライブ講習等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	/	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	
18 自動車の適正な維持管理	① 日常の点検・整備に係る責任者を設置し、点検、整備及び点検・整備に必要な知識や技術を習得するための研修等についての管理基準を設定している。 ② 管理基準に基づいた運用を実施している。	/	<input type="radio"/> 設定済 <input type="radio"/> 一部設定済 <input type="radio"/> 未設定 <input type="radio"/> 非該当	<input type="radio"/> 実施済 <input type="radio"/> 一部実施済 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 非該当	

9 自主的な温室効果ガス排出削減対策の実施状況

- ・計画期間に効果が得られた自主的な対策について記載してください。
- ・燃料、熱、電気等の使用量を一年間での値に換算して削減量を算出してください。

事業者総排出量 [t-CO ₂]	削減量合計 [t-CO ₂]	削減量合計 事業者総排出量	
85,313	694	0.81	%

番号	実施年度	対策分類	設備分類	具体的な対策	削減量 [t-CO ₂]
1	2019	効率向上	照明設備	小野町倉庫照明LED化 水銀灯：90灯×400w×12h×365/1000=157,680kwh LED：90灯×135w×12h×365/1000=53,217kwh 差引=104,463kwh 蛍光灯：575灯×80w×12h×365/1000=201,480kwh LED：575灯×30w×12h×365/1000=75,555kwh 差引=125,925kwh アイランプ：31灯×300w×12h×365/1000=40,734kwh LED：31灯×100w×12h×365/1000=13,578kwh 差引=27,156kwh 合計削減電力量=257,544kwh	131.8
2	2019	効率向上	電気使用設備	工業用水ポンプ#1号機45kw→55kwへ容量UP及びINV化し、常時2台運転→1台運転化 改善前：45kw商用運転+45kwINV運転（2台運転） 45kw×24h×180+45kw×0.5×24h×180=291,600kwh 改善後：55kwINV運転（1台運転） 55kw×0.64×24h×180=152,064kwh 削減量=139,536kwh	71.4
3	2020	効率向上	照明設備	場内照明LED化 1、小野町駐輪場：2.28→1.14（-1.14Kwh/年） 2、業務関係：6,960→3,049（-3,911Kwh/年） 3、型磨板関係：231,175→69,487（-161,688Kwh/年） 4、7号工場共有：319,248→107,584（-211,664Kwh/年） 5、SE2棟関係：240,951→93,857（-147,094Kwh/年） 6、弁天関係：10,512→2,365（-8,147Kwh/年） 7、研修センター関係：20,970→13,980（-6,990Kwh/年） ※合計：829,818→290,323（-539,495Kwh/年）	253.6
4	2020	効率向上	電気使用設備	工業用水ポンプ#3号機45kw→55kwへ容量UP及びINV化し、常時2台運転→1台運転化 改善前：45kw商用運転+45kwINV運転（2台運転） 45kw×24h×180+45kw×0.5×24h×180=291,600kwh 改善後：55kwINV運転（1台運転） 55kw×0.64×24h×180=152,064kwh 削減量=139,536kwh	65.6
5	2020	効率向上	熱搬送設備	磨板工場送りボイラー1台高燃焼運転→2台中低燃焼並列運転化&蒸気配管保温更新	171.3

10 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

(報告対象年度に実施した対策にチェックし、補足説明がある場合下部に記載)	
<input type="checkbox"/>	水道及び工業用水道の使用量削減に係る対策
<input type="checkbox"/>	廃棄物の排出量の把握及び削減に係る対策
<input checked="" type="checkbox"/>	貨物等の運搬等のために他者の自動車を利用している場合の対策
<input type="checkbox"/>	従業員の自動車利用から公共交通機関への誘導策等、公共交通機関の利用促進に関する対策
<input type="checkbox"/>	地域における環境教育の実践
<input checked="" type="checkbox"/>	市域の緑地保全に関する取組
<input checked="" type="checkbox"/>	省エネ型商品又はサービスの開発等、事業活動の特性を活かした対策
<input type="checkbox"/>	その他地球温暖化の防止に係る対策（エネルギーを使用しないもの）
◆物流部門にて、モーダルシフトやアイドリングストップ実施。	
◆緑化率向上整備	
◆Low-E複層ガラスの開発、すだれ状太陽光パネル搭載複層ガラスの開発	

11 特記事項

当拠点は、横浜市の研究開発拠点として発展を続ける「横浜サイエンスフロンティア」の一角に位置する工場として、最先端技術に対応したガラスの研究開発および住宅・ビル用各種板ガラス、車載ディスプレイ用カバーガラスの生産を行っており、研究開発・生産の主力拠点としての機能を果たしており、現在、神奈川県羽沢の中央研究所に分散している機能を統合し、シームレスな研究開発体制を構築し、他の企業や研究機関との協創（コラボレーション）を行なうことにより、イノベーションを展開しようとしている。コロナ禍で移転が遅れながらも、2020年度は移転が佳境に入り、新研究棟の立上げ過渡期となった。

新研究棟では、LED照明はもとより、地熱を利用した空調の効率化や、断熱性能の高いガラスなどを多く用いることで、省エネに配慮した構造としており、これまで羽沢に分散した建屋での運転エネルギーを集中化して効率的な稼働ができると期待している。さらには、来年度は、屋上緑地も検討し、緑地化率の向上を計画中である。

また、場内全体でも積極的に照明を更新を進め、2019年より2021年までの3年間で、蛍光灯や水銀灯照明を100%LED化することを目指している。

今後、横浜サイエンスフロンティア地区に立地する利点を活かし、近隣機関や行政と連携した取組みを展開し、開発拠点としての役割をSDGs推進につなげるべく、社会に貢献できる人材を育成するために、SDGs啓発活動も積極的に取り組んでおり、2050年“カーボン・ネットゼロ”を目指した、AGCグループのサステナビリティ目標（2021年策定予定）に備えた活動を展開中である。

なお、AGCでは、グループのサステナビリティ経営戦略として、“持続可能な地球環境の実現”のために、GHG排出量30%削減（2019年比）、2050年“カーボン・ネットゼロ”に向けた主な取組みとして、次のプランを掲げている。

①技術イノベーションによって自社排出量を削減 ②使用段階のCO2削減に貢献する製品の開発・普及
③次世代エネルギーとしての、水素・再エネの普及に貢献する製品の開発・普及